



# 第50期 中間報告書

平成22年1月1日から平成22年6月30日まで



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成22年6月30日をもちまして、第50期事業年度の中間期（平成22年1月1日から平成22年6月30日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年 9月



代表取締役会長  
**尾崎 茂**

代表取締役社長  
**尾崎 敦史**

## 事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、輸出の増加や政府による景気刺激策により一部の産業に改善の兆しが見られるものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、また、欧州の財政不安の波及が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業にあっては、長引く景気低迷から消費者の節約志向による外食控えの影響が継続し、また、食品業界や一般小売業にあっては価格競争が続くなど引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で、当社グループは、引き続き既存顧客との相互信頼関係の構築、新規顧客の開拓、サービス体制の充実、コスト競争力の強化に取り組み、業績の維持向上に努めてまいりました。

また、昨年末に自社製品として発表した、省エネ・省スペースで使い易さを追求した業務用食器洗浄機やコールドテーブルでは業界初となるインバータ化したノンピラータイプ4機種を投入するなど積極的な市場展開を図ってまいりました。

しかしながら、当中間期の連結業績につきましては、売上高13,589百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益2,662百万円（前年同期比22.3%減）、経常利益2,675百万円（前年同期比22.6%減）、中間純利益1,815百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、緊急経済対策を始めとする政策の効果などを背景に、景気が自律的な回復へ向かうことが期待されますが、一方、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響、雇用情勢の悪化懸念など、依然として予断を許さない厳しい経営環境が続くと思われまます。

このような環境の下、当社グループは、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発に繋げ、新市場の創造・新規顧客の開拓に取り組みとともに、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応える諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいり所存であります。

なお、中間配当金につきましては、前期同様1株につき5円とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
期 別	当中間期	前中間期	前 期	期 別	当中間期	前中間期	前 期
科 目	平成22年6月30日現在	平成21年6月30日現在	平成21年12月31日現在	科 目	平成22年6月30日現在	平成21年6月30日現在	平成21年12月31日現在
<b>流 動 資 産</b>	<b>34,346</b>	<b>34,196</b>	<b>32,663</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>6,141</b>	<b>8,431</b>	<b>4,952</b>
現金及び預金	27,350	24,908	25,548	支払手形及び買掛金	2,679	2,503	1,975
受取手形及び売掛金	3,048	3,538	3,057	短期借入金	—	2,500	—
リース投資資産	1,192	2,546	1,759	未 払 金	442	478	503
商品及び製品	1,113	1,569	885	未払法人税等	930	917	874
仕 掛 品	202	220	217	賞与引当金	128	626	117
原材料及び貯蔵品	283	362	241	役員賞与引当金	10	7	15
点検修理用部品	241	286	248	製品保証引当金	120	130	121
繰延税金資産	485	481	225	その他の流動負債	1,830	1,268	1,344
その他の流動資産	455	368	535	<b>固 定 負 債</b>	<b>2,063</b>	<b>2,004</b>	<b>2,041</b>
貸倒引当金	△ 26	△ 86	△ 56	退職給付引当金	1,082	1,044	1,072
<b>固 定 資 産</b>	<b>11,766</b>	<b>10,568</b>	<b>10,687</b>	役員退職慰労引当金	961	925	943
<b>有形固定資産</b>	<b>8,021</b>	<b>7,181</b>	<b>8,152</b>	その他の固定負債	19	34	25
建物及び構築物	3,566	3,217	3,722	<b>負 債 合 計</b>	<b>8,204</b>	<b>10,435</b>	<b>6,994</b>
機械装置及び運搬具	644	909	756	<b>純 資 産 の 部</b>			
土 地	3,633	2,803	3,473	<b>株 主 資 本</b>	<b>37,909</b>	<b>34,321</b>	<b>36,352</b>
そ の 他 の 有形固定資産	177	251	199	資 本 金	9,907	9,907	9,907
<b>無形固定資産</b>	<b>84</b>	<b>119</b>	<b>102</b>	資 本 剩 余 金	9,867	9,867	9,867
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,660</b>	<b>3,266</b>	<b>2,431</b>	利 益 剩 余 金	18,309	14,719	16,751
投資有価証券	79	594	87	自 己 株 式	△ 175	△ 172	△ 173
繰延税金資産	1,288	1,774	1,464	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 0	7	3
その他の投資	2,540	1,097	1,111	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 0	7	3
貸倒引当金	△ 248	△ 199	△ 231	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>37,908</b>	<b>34,329</b>	<b>36,356</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>46,113</b>	<b>44,764</b>	<b>43,350</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>46,113</b>	<b>44,764</b>	<b>43,350</b>

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	(当中間期)	(前 期)
2. 有形固定資産の減価償却累計額	11,636百万円	11,211百万円
		11,509百万円

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		
	当中間期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前中間期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	前 期 平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで
売上高	13,589	14,402	29,172
売上原価	5,667	5,674	11,941
売上総利益	7,922	8,728	17,230
販売費及び一般管理費	5,259	5,301	10,556
営業利益	2,662	3,426	6,674
営業外収益	103	90	200
受取利息及び配当金	16	20	34
不動産賃貸収入	13	12	25
その他の営業外収益	73	57	140
営業外費用	90	60	146
点検契約解約損	13	12	12
スクラップ処分費	33	31	69
その他の営業外費用	43	16	64
経常利益	2,675	3,456	6,728
特別利益	3	1	1
固定資産売却益	0	—	—
貸倒引当金戻入益	2	1	1
特別損失	62	1	7
固定資産除却損	56	1	2
固定資産売却損	5	0	2
貸倒引当金繰入額	—	—	2
税金等調整前中間(当期)純利益	2,616	3,455	6,721
法人税、住民税及び事業税	881	873	1,281
法人税等調整額	△ 80	6	574
中間(当期)純利益	1,815	2,576	4,865

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	当中間期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前中間期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,770	5,261
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,709	891
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 258	2,240
現金及び現金同等物 の増減額	△ 197	8,392
現金及び現金同等物 の期首残高	23,548	15,515
現金及び現金同等物 の中間期末残高	23,350	23,908

(キャッシュ・フローの状況)

当中間期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて197百万円減少し、23,350百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期における営業活動による資金の増加は、3,770百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,616百万円、仕入債務の増加704百万円、リース投資資産の減少566百万円、減価償却費285百万円などが法人税等の支払額811百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期における投資活動による資金の減少は、3,709百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出6,000百万円、有形固定資産の取得による支出205百万円などが定期預金の払戻による収入2,500百万円を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期における財務活動による資金の減少は、258百万円となりました。これは主に配当金の支払額256百万円でありあります。

## 東京本社移転&ショールームオープン

平成22年3月に、東京本社を新社屋「大和冷機秋葉原DRKビル」に移転し、新しい情報発信基地としてスタートしました。

法人営業部門だけでなく直販営業所も入居しており、1階には新しくショールームもオープンいたしました。最新のインバータ冷蔵庫をはじめ、厨房や店舗向け製品を数多く取り揃え、実際に触れていただくスペースとなっております。

50周年の節目の年に、お客様にとって身近で機能的に生まれ変わったオフィスを拠点とし、さらに高い次元のニーズに応えてまいります。



- 東京本社住所  
〒110-0016 東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
- 交通のご案内  
秋葉原駅（JR線・日比谷線・つくばエクスプレス線）より徒歩10分  
末広町（東京メトロ銀座線）、仲御徒町駅（東京メトロ日比谷線）より各徒歩10分
- ショールーム予約専用電話  
03-5816-5441（月～金 AM9:00～PM5:00）

## 当中間期に発売された主な新製品

### エコ蔵くん インバータ制御冷凍冷蔵庫



#### ●消費電力量58%削減

圧縮機・DC庫内ファン・DC凝縮ファンのインバータ制御により、最大58%省エネを実現しました。

#### ●ノンフロン断熱材採用

オゾン破壊係数0で地球温暖化係数も低いノンフロンのシクロペンタンを発泡剤に採用。

#### ●驚きの静かさ37.6dB

騒音エネルギーを大幅カット。  
美術館並みの静かさを実現しました。

### エコ蔵くん インバータ制御冷蔵庫



#### ●消費電力量70%削減

圧縮機・DC庫内ファン・DC凝縮ファンのインバータ制御により、最大70%省エネを実現しました。

#### ●ノンフロン断熱材採用

オゾン破壊係数0で地球温暖化係数も低いノンフロンのシクロペンタンを発泡剤に採用。

#### ●高断熱構造新BOX採用

高断熱構造によりヒータ容量を制御。

### エコ洗くん アンダーカウンタータイプ食器洗浄機



#### ●コスト73%削減

水道代、電気代、ガス代、洗剤代全てで手洗いに対して、大幅にコストを低減します。

#### ●省エネ設計

すすぎ水量は業界トップクラスの2リットル以下。  
優れた省エネ性と使いやすさを実現しました。

#### ●Wすすぎノズル採用

回転ノズルと固定ノズルのWすすぎノズルの採用で無駄なくすすぎ、隅々までピカピカに洗います。

## ノンフロン断熱とインバータ制御で 地球に優しい製品を提供します。

“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。  
より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、日々進化を  
まいりました。

21世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」のステップを  
確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、「トータル力」で提供してまい  
ります。





## ノンフロンシクロペントンを採用した環境に優しい冷蔵庫

当社は業界に先駆け、本体、扉の断熱材にシクロペントンを採用し廃棄製品の冷媒回収と合わせてノンフロン100%を目指します。

特に縦型冷蔵庫には業界初として2007年から採用しています。

今後さらに多くの製品に採用することで、地球環境を大切にする最良の業務用冷蔵庫・ショーケースをご提供します。

本体と扉に  
ノンフロン断熱採用  
(シクロペントン)



### 衛生管理

- ・クリアコートステンレス
- ・抗菌剤
- ・防カビ剤
- ・庫内アール加工

### オゾン層保護

- ・HFC 冷媒
- ・ノンフロン断熱
- ・フロン回収システム

TOTAL  
SOLUTIONS

### 省エネ・省コスト

- ・インバータ制御
- ・DC ファンモータ
- ・新マイコン
- ・高断熱構造
- ・低消費電力化
- ・NH ガラス
- ・節水制御

### 安心・安全

- ・アラーム機能
- ・漏電ブレーカー
- ・診断機能
- ・サービスネットワーク

### 高機能・高付加価値

- ・電子式鮮度保持 [鮮度くん]
- ・静音設計 [DC ファンモータ・インバータ制御]
- ・高湿氷温庫
- ・センターノンピラー冷蔵庫 / 冷凍庫
- ・急速凍結庫

# 会社の概況

平成22年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式310,387株を含む）
中間期末株主総数	4,105名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	1,892名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理</li><li>・ 厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 店舗・厨房の企画、設計および施工</li></ul>
子会社	株式会社トーニチ

## 役員

平成22年6月30日現在

代表取締役会長……	尾崎茂
代表取締役社長……	尾崎敦史
常務取締役……	杉田壽宏
常務取締役……	小野文男
取締役……	三浦明
取締役……	工藤哲郎
常勤監査役……	大津加一治
監査役……	日下敏彦
監査役……	西久保博康

(注) 監査役 日下敏彦、西久保博康の両氏は、社外監査役であります。

## 執行役員

平成22年6月30日現在

社長執行役員……	尾崎敦史
常務執行役員……	杉田壽宏
常務執行役員……	小野文男
執行役員……	三浦明
執行役員……	工藤哲郎
執行役員……	河村明
執行役員……	尾崎雅広
執行役員……	江村祥一
執行役員……	那須元彰
執行役員……	平出和茂

## 株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主總會

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

特別口座の口座管理機関連絡先

大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券

代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

大阪証券取引所 市場第1部

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.drk.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

# 信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク。

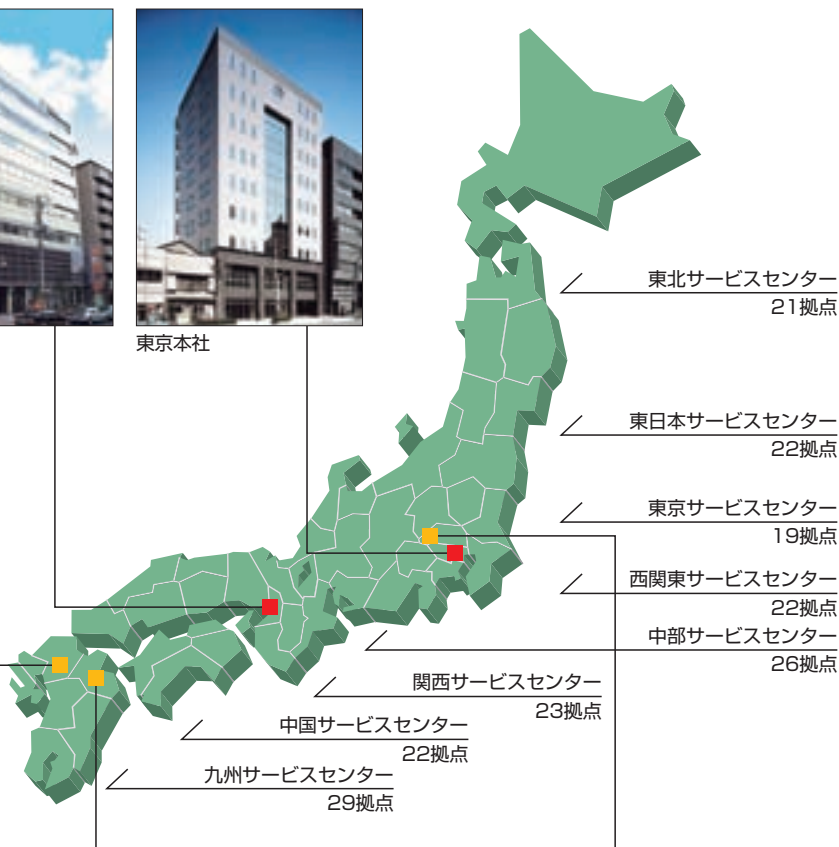
全国をサービス・メンテナンス・最新情報の高感度アンテナとしてネットワーク。よりきめ細かく、スピーディに対応します。



大阪本社



東京本社



福岡工場



佐伯工場



関東大利根工場